

小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和2年7~9月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市中央通3丁目5-1

TEL 0982(33)6666

FAX 0982(33)6682

I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	125事業所
2. 回答事業所数	62事業所
3. 回答率	49.6%
4. 業種別内訳	
製造業	9事業所
建設業	7事業所
卸売業	3事業所
小売業	25事業所
サービス業	18事業所
合計	62事業所

5. 実施時期（令和2年度7月より実施）
 令和2年 11月

6. 調査対象期間
 令和2年 7月～9月（第2四半期）

7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（D I 値の集計）

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上：（増加）－（減少）

採算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従業員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業況：（好転）－（悪化）

8. 調査方法

調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

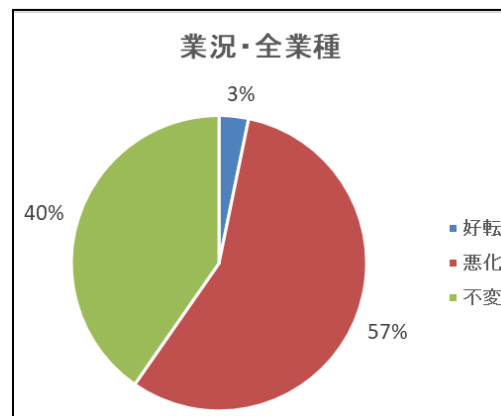
Ⅱ. 概況

1. 全業種の業況

全業種の業況判断は、前年同期比のDI値は▲53.2ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は3.2%、悪化したと回答した事業所が56.5%、変わらないと回答した事業所は40.3%だった。

令和2年7～9月は、新型コロナウイルス感染症の影響により卸売業以外の業種で業況が悪化している。



来期見通し(10～12月)については、卸売業を除く業種で業況のDI値は悪化し、その他項目(売上、採算、資金繰り)については、全業種で悪化の見通しとなっている為、今後も全業種において景気の悪化が懸念される。

	R1. 7～9 前年同月比	R2. 4～6 前期比	R2. 10～12 見通し
全業種	-53.2	-35.5	-35.5
製造業	-55.6	-44.4	-22.2
建設業	-57.1	-28.6	-14.3
卸売業	0.0	66.7	0.0
小売業	-60.0	-52.0	-40.0
サービス業	-50.0	-27.8	-50.0

2. 業種別の概要

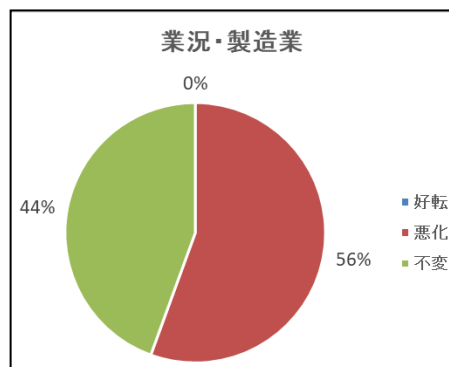
① 製造業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が▲55.6ポイント。
業況が好転したと回答した事業所は0%、悪化したと回答した事業所が55.6%、変わらないと回答した事業所が44.4%だった。

来期見通しD I 値は▲22.2ポイントで、悪化する見通しとなっている。

○主な意見

- ・「新型コロナウイルス感染症の影響により、海外輸出・国内販売が減少・低迷しているの、今後さらに悪化すると見込んでいる。」
- ・「7~9月はイベント、会社関係の催場もなくなり、売上が去年と比較して減少した。」



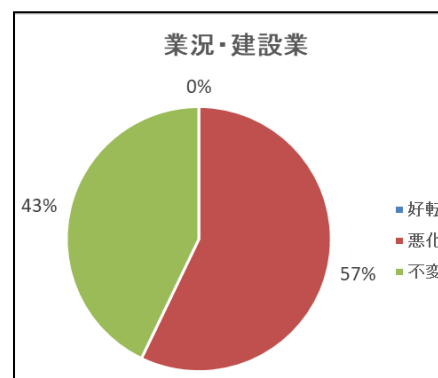
② 建設業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が▲57.1ポイント。
業況が好転したと回答した事業所は0%、悪化したと回答した事業所は57.1%、変わらないと回答した事業所は42.9%だった。

来期見通しのD I 値は、▲14.3ポイントで、悪化する見通しとなっている。

○主な意見

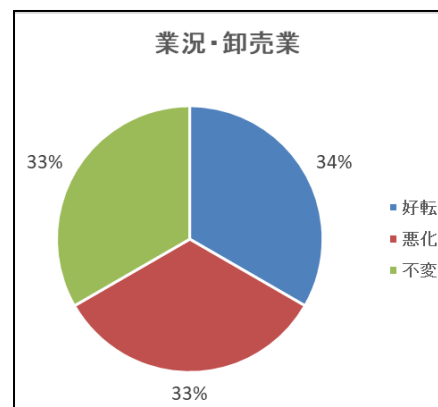
- ・「コロナの影響により、売上・利益共に減少した。」



③ 卸売業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が0.0ポイント。
業況が好転したと回答した事業所は33.4%、悪化したと回答した事業所が33.3%、変わらないと回答した事業所は33.3%だった。

来期の見通しD I 値は、0ポイントで、変わらない見通しとなっている。



○主な意見

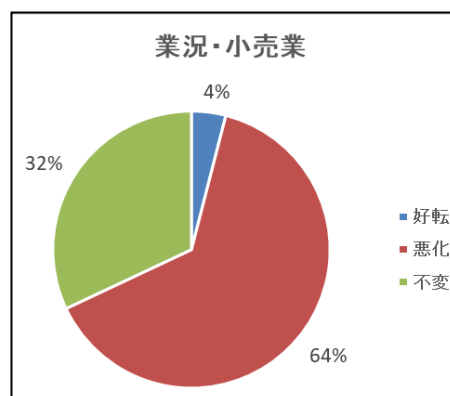
- ・「新型コロナウイルス感染症の影響の為、売上・採算共に減少した。」

④ 小売業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が▲60.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は4.0%、悪化したと回答した事業所は64.0%、変わらないと回答した事業所は32.0%だった。

来期の見通しD I 値は、▲40.0ポイントで、の見通しとなっている。



○主な意見

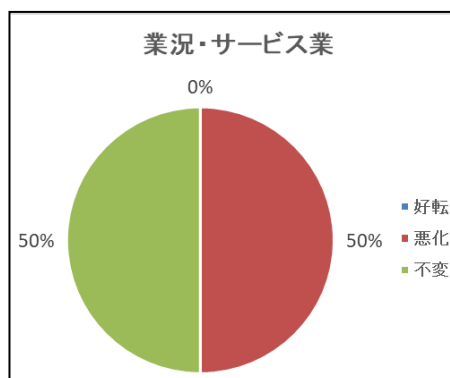
- ・「新型コロナウイルス感染症の影響により、大口注文は減ったが、個人の注文は増えた。」
- ・「来店客数、客単価とも減少した。」

⑤ サービス業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が▲50.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0%、悪化したと回答した事業所は50.0%、変わらないと回答した事業所は50.0%だった。

来期見通しD I 値は、▲50.0ポイントで、悪化する見通しとなっている。



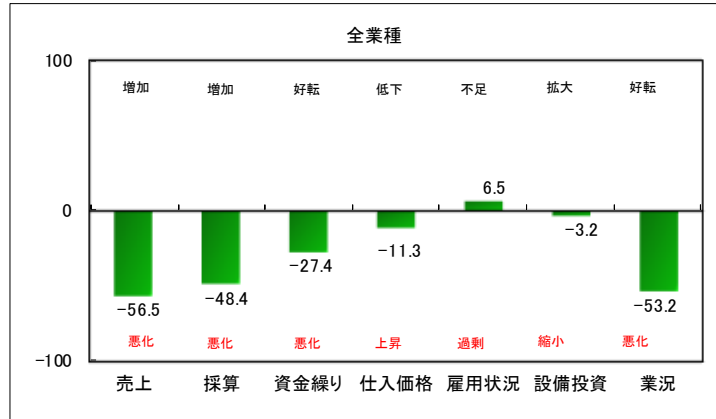
○主な意見

- ・「コロナ禍の中でイベント等が少なくなり、お客様の来店サイクルが伸び、客数が減少した。」
- ・「月によって変動するがコロナ対策で短時間での施術を希望する方も増えた。来店周期も長くなっている。」

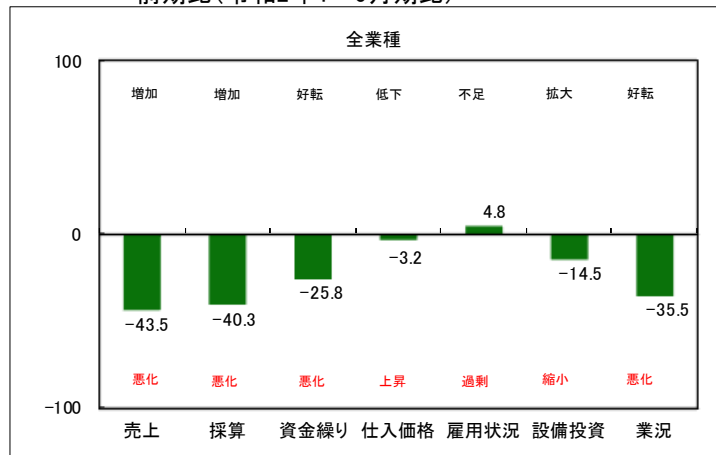
市内景気動向

全業種

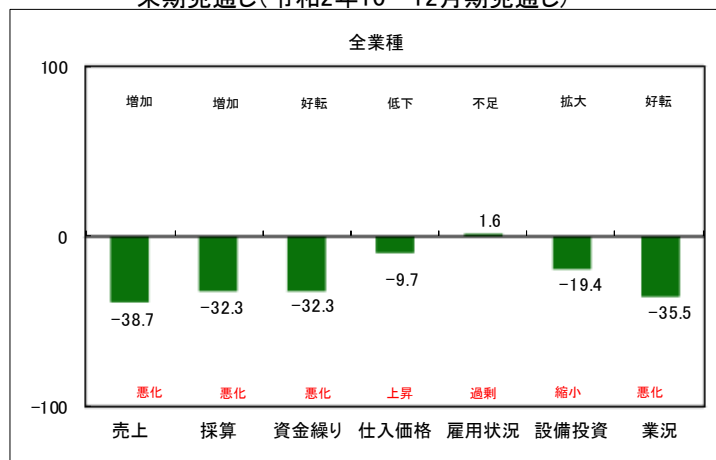
前年同期期比(令和元年7~9月期比)



前期比(令和2年4~6月期比)



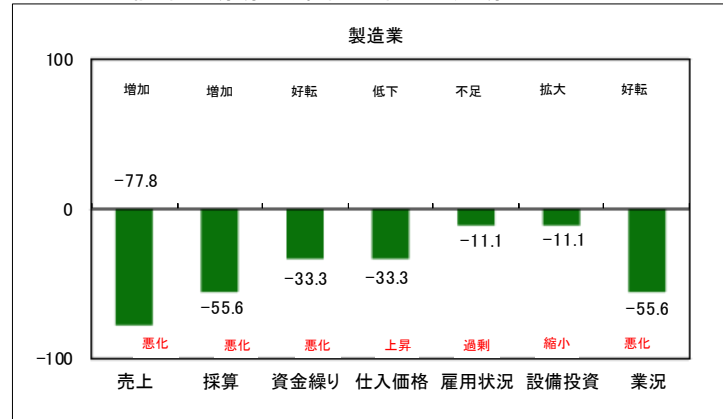
来期見通し(令和2年10~12月期見通し)



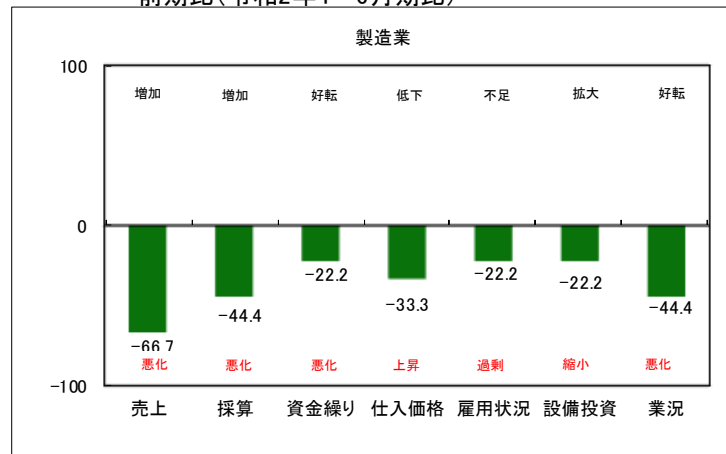
業種別景気動向

製造業

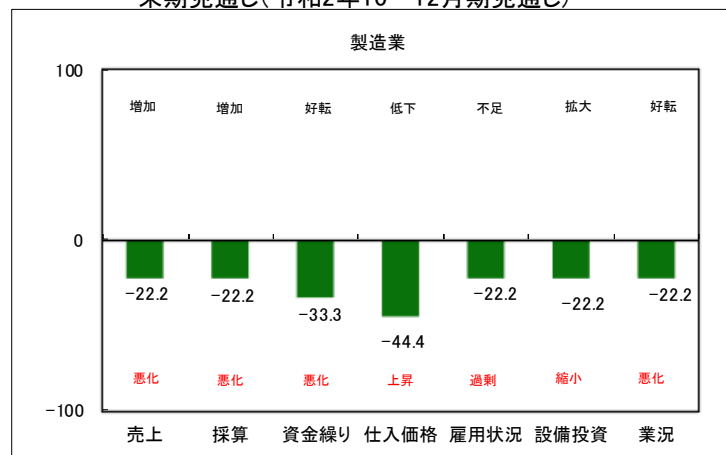
前年同期期比(令和元年7~9月期比)



前期比(令和2年4~6月期比)



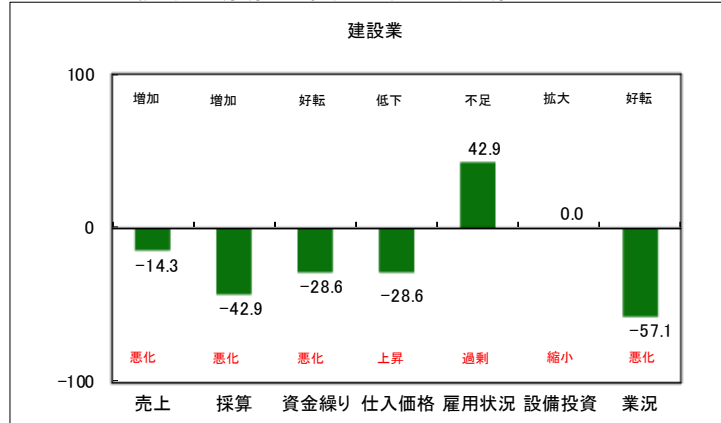
来期見通し(令和2年10~12月期見通し)



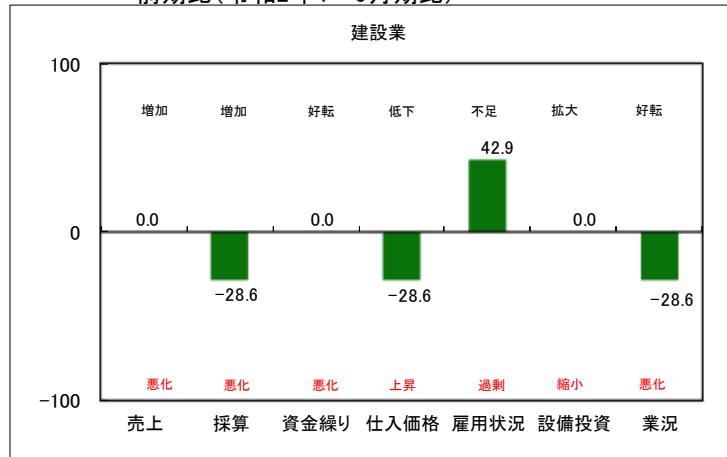
業種別景気動向

建設業

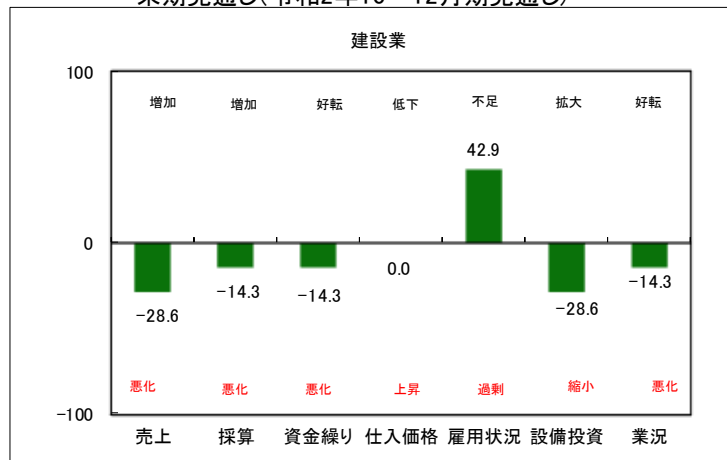
前年同期期比(令和元年7~9月期比)



前期比(令和2年4~6月期比)



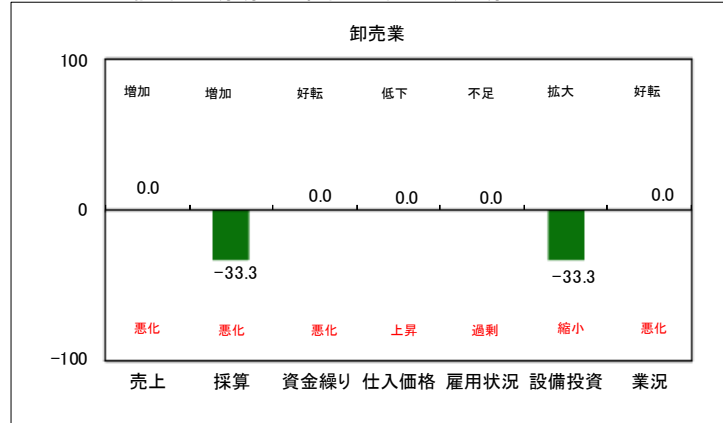
来期見通し(令和2年10~12月期見通し)



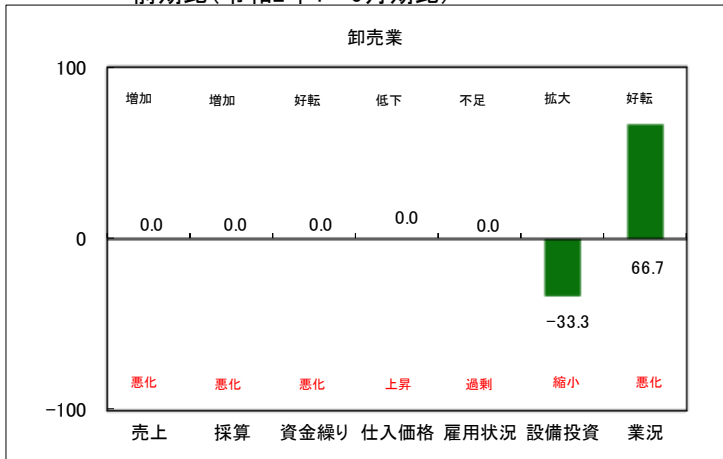
業種別景気動向

卸売業

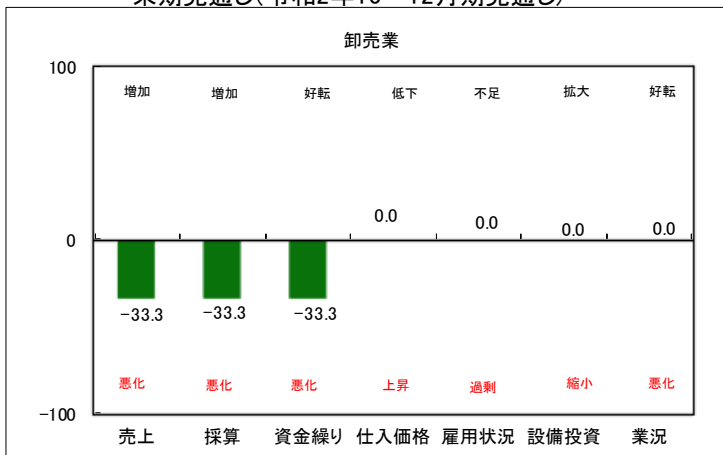
前年同期期比(令和元年7~9月期比)



前期比(令和2年4~6月期比)



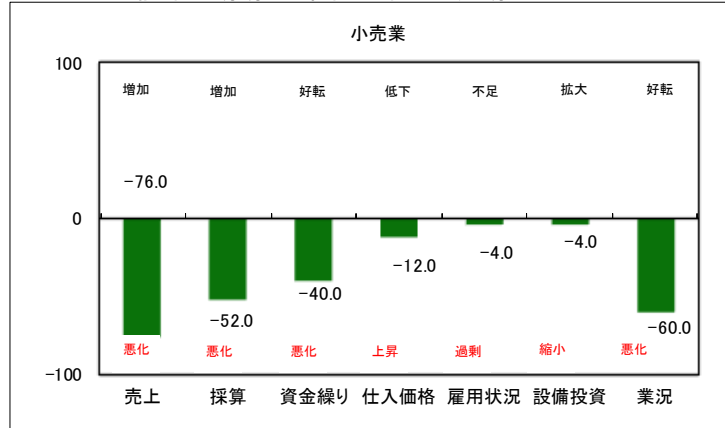
来期見通し(令和2年10~12月期見通し)



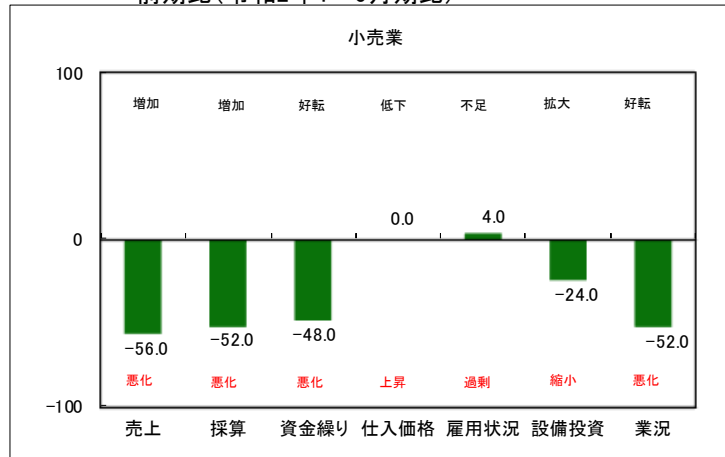
業種別景気動向

小売業

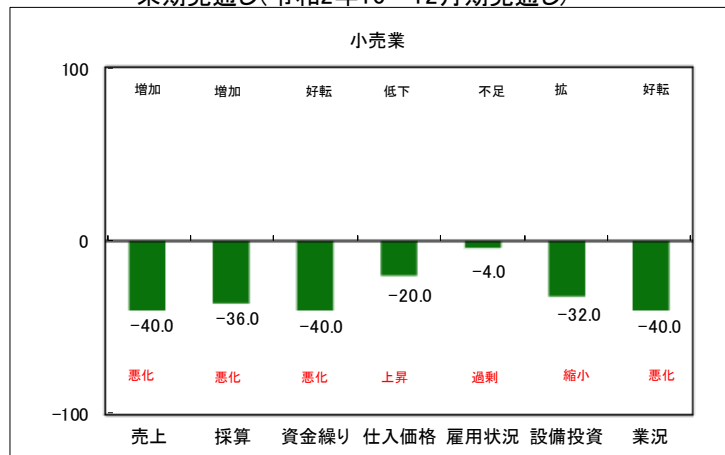
前年同期期比(令和元年7~9月期比)



前期比(令和2年4~6月期比)



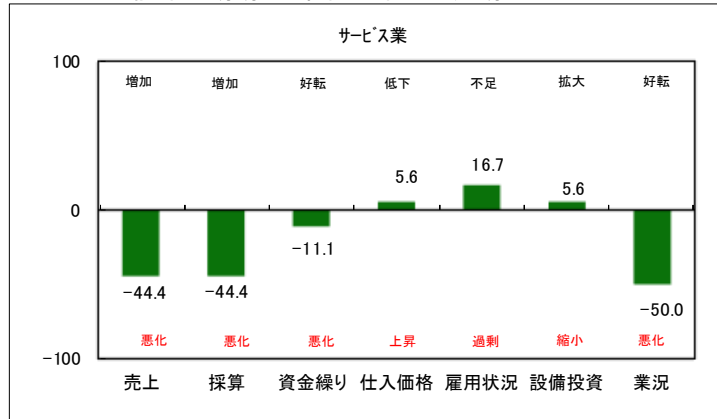
来期見通し(令和2年10~12月期見通し)



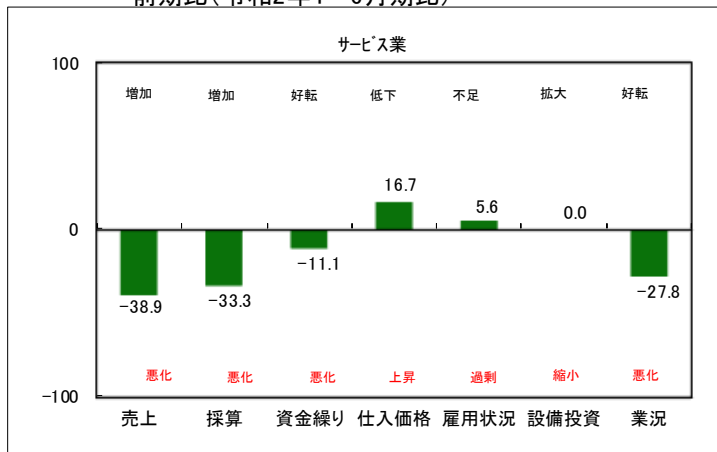
業種別景気動向

サービス業

前年同期期比(令和元年7~9月期比)



前期比(令和2年4~6月期比)



来期見通し(令和2年10~12月期見通し)

